

## 日本交通学会 第69回研究報告会・2010年度総会 概要

2010年10月2日～3日の2日間、日本交通学会第69回研究報告会および2010年度の総会、懇親会が東洋大学文京第2キャンパスにおいて開催されました。

研究報告会では、32件の研究報告(初日:2会場8件、2日目:3会場24件)とともに、観光庁のご後援をいただいで統一論題シンポジウム「観光振興に果たす交通の機能と役割」が開催されました。

このうち、統一論題シンポジウムでは、観光庁次長の武藤浩氏より、「観光立国の実現に向けた取組について」の特別講演を賜りました。また、東洋大学の太田勝敏教授による問題提起に続き、東洋大学の松園俊志教授による「旅行業と交通産業との相互関係 ～旅行業が迫られるパラダイム・シフト～」、小田急電鉄(株) 執行役員交通企画部長の小柳淳氏による「公共交通と観光 ～小田急電鉄の経験を基に～」の2件のキーノートスピーチが行われました。その後、太田教授をコーディネータとして、松園教授、小柳氏に加え、東京大学の家田仁教授、奈良県立大学の新納克廣准教授のパネリスト4名によるパネルディスカッションが行われ、活発な議論が交わされました。



特別講演 (武藤浩氏)



問題提起 (太田勝敏教授)



キーノートスピーチ (松園俊志教授)



キーノートスピーチ (小柳淳氏)



パネルディスカッションの様子



左から  
小柳氏、家田教授、新納准教授

また、総会では、会務の報告、決算、予算の承認に加え、今年度は特に会則等の変更についても承認をいただきました。また、日本交通学会賞が発表され、宮下会長から賞状と副賞金が授与されました。

#### 著書の部

○森地茂・金本良嗣(編著)『道路投資の便益評価;理論と実践』東洋経済新報社,2008年11月

#### 論文の部

○鈴木裕介「地域の自動車利用に対する費用負担に関する分析－燃料税に関する議論を中心に」『交通学研究』,2009年

○黒崎文雄「鉄道の上り下り分離に関する分析」『交通学研究』,2009年



森地茂会員



鈴木祐介会員



黒崎文雄会員

さらに、初日の夜には懇親会も開催され、盛況な中、会員相互の親睦をさらに深めることができました。

こうして、2日間の期間中、研究報告会、総会、懇親会に総勢 181 名が参加され、無事、すべての行事が滞りなく終了いたしました。

終わりに、研究報告会、総会、懇親会のみならず、前日に開催された理事会・評議員会も含めて、準備、運営に多大なるご協力、ご尽力を頂きました東洋大学の堀雅通先生、太田勝敏先生をはじめ、同大学の各先生、事務スタッフおよび学生の皆様に、心から感謝申し上げます。

(事務局記)